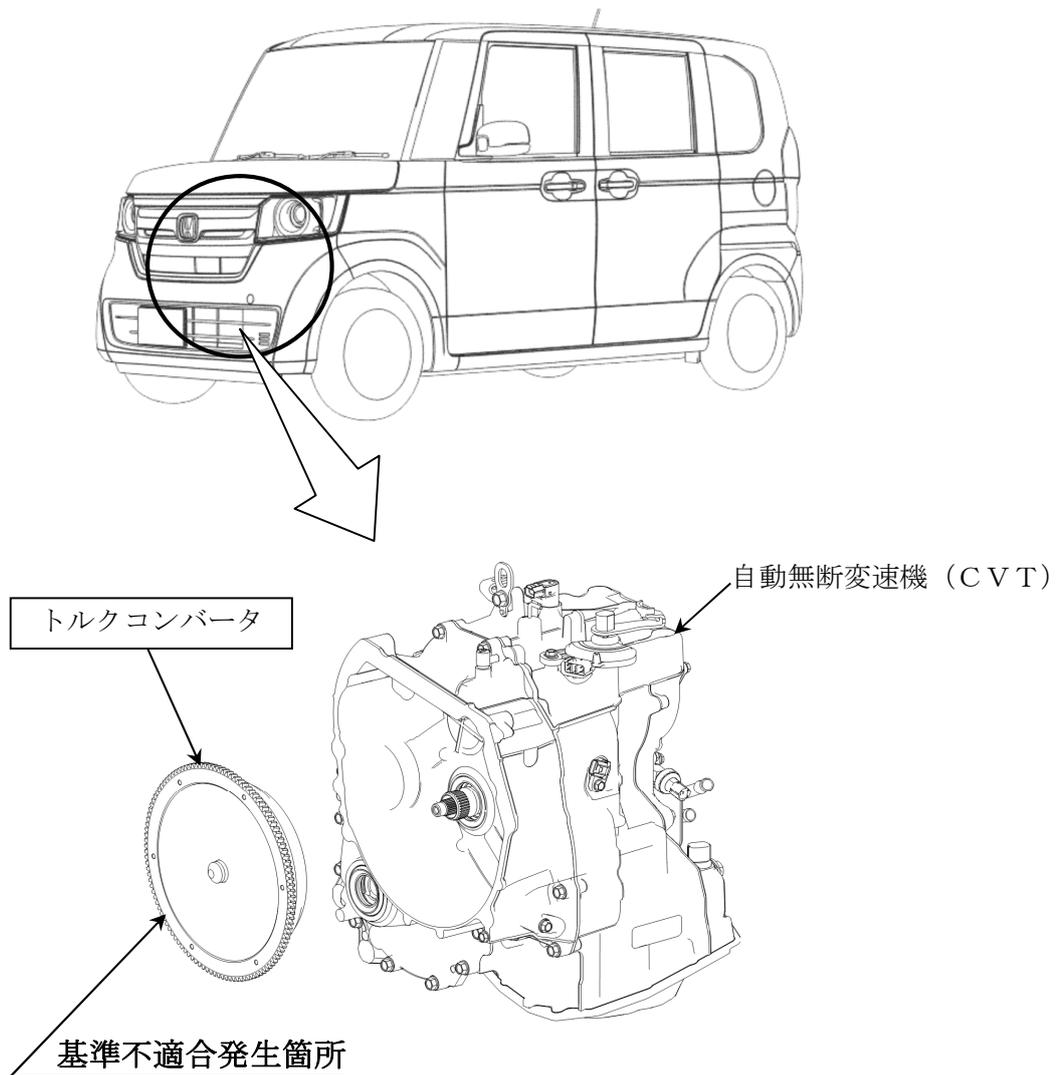


改善箇所説明図



自動無段変速機 (CVT) のトルクコンバータにおいて、ロックアップクラッチダンパスプリングの成形が不適切なため、ロックアップ機構作動時に過大な応力がかかり折損することがある。そのため、折損したスプリングがトルクコンバータ内部に脱落し、異音が発生し、最悪の場合、トルクコンバータ内部に噛み込み、発進時等にエンストして走行できなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、トルクコンバータを良品と交換する。

注： は交換部品を示す。

識別：運転者席側ドア上側ヒンジ上側ボルト頭部に黄色ペイントを塗布する。